

**夜** 空に一瞬のきらめきを放つ「流れ星」。皆さんは見たことがありますか。流れ星を見たことがないという方もいると思いますが、流れ星は昼夜を問わず何個も流れていて、日中は見ることは出来ません。では、流れ星とは一体どんな星なのでしょう。

**実** は、この塵を宇宙空間にはさまっているのは、彗星（別名ほうき星）なんです。

**彗** 星とは、宇宙空間を移動する天体で、塵をまとった氷の塊で出来ていることから、汚れた雪だるまとも呼ばれ、太陽を基点に決まった楕円軌道を移動している彗星（周期彗星）や、太陽系のはるか遠くからやってくる彗星もあります。

**流** れ星は、広大な宇宙空間を動き回る彗星の置き土産ともいわれる僅か1mmにも満たない塵と地球が出会った時に見られるのです。そんな偶然の産物なんです。毎年、決まった時期に決まった方角から流れるように見える流れ星たちがいます。これを「流星群」、「群流星」といいます。

**流** 星群は、周期彗星の通り道の近くを地球が通った時に

起こるので、時期や方角が決まっています。

**1** 月の『しぶんぎ座流星群』、8月の『ペルセウス座流星群』、12月の『ふたご座流星群』は、三大流星群と呼ばれ、ピーク時には1時間に50個以上も流れます。ただし、この数は空全体を流れる数で、人の視野（見える範囲）を考慮すると実際に見えるのは3分の1程度の数となります。

**よ** く、「○○座流星群の時は、○○座の方角を見たらよいのですか」と聞かれます。これは間違いではありませんが、正解でもありません。では、どこを見たらいいのでしょうか。答えは、好きな方角を見てください。○○座流星群の○○座とは、○○座から流れ星が流れるわけではなく、軌跡を元にたどると○○座が見えるというもので、○○座とは反対の方角にも流れたりします。

**今** 年のペルセウス座流星群は、8月12日の午後11時に最も活動が活発になると予想されています。この日は、上弦の月が夜半前まで輝いていますので、月が沈む22時以降にご覧になることをお勧めします。その日以外でもペルセウス流星群は8月上旬には

既に活動を開始していますので、天気予報と相談しながら流れ星を楽しんで下さい。

ペルセウス座がどこにあるかわからなくても、好きな方角を見ていけば大丈夫ですので、広い視野が確保でき、暗くても安全な場所をお勧めします。また、ある程度の時間、夜空を見上げることにありますので、シートに寝転がったり、リクライニングチェアなどを利用して、疲れのない工夫をするのも良いでしょう。「流れ星に願い事を3回唱えたらかなうかも。」なんていわれませんが、僅か数秒の出来事なので、早口言葉の練習もしておきましょう。

有賀伸一(たじま天文同好会)



ペルセウス流星群 (出典：国立天文台)

ご意見・ご要望はコチラまで  
商工観光課 電話 0241-62-6200

森林環境譲与税事業のご紹介

本号では、森林環境譲与税を活用した町の事業についてご紹介します。



きとね  
Instagram  
はコチラ



【問合せ】  
農林課 林業振興係  
電話 0241-62-6220



絵本作家さんとつくる木の絵本

5月25日、福島県出身の絵本作家にしぎからいと先生を講師に迎え、「絵本作家さんとつくる木の絵本」が「きとね」で開催されました。

にしぎか先生が描いた物語の続きを小学生が考え、先生が物語をひとつにまとめ絵本にします。

できあがった絵本を南会津町産のスギにプリントして完成です。

当日は町内の小学校3年生から6年生、14人の参加があり、160色もある色鉛筆やクレヨン、かわいいシール、キラキラしたマスキングテープなどに目を輝かせながら創作に集中していました。

完成した絵本は、町内の公共施設等に配架されます。



木育インストラクター養成講座

6月8日、特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会の専任講師である福島計一先生を講師に迎え、「木育インストラクター養成講座inみなみあいづ」が「きとね」で開催されました。

木育インストラクターとは、子どもたちに木や森林の大切さを教え自分と他者とのかわりに目を向け、主体的に行動できるよう育てていくこと、木のおもちゃの遊び方を通して物の大切さや親しむ心を伝えていく木育の専門家です。町内外から16の方が参加され、先生の話に熱心に耳を傾けておりました。受講された皆さんには先生から認定書が交付され、「木育インストラクター」の資格を取得されました。

今後は木育に関する様々なイベントで活躍していただきます。

